

# 令和4年度（2022年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名	大東商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 浅野 弘資
	所在地	〒574-0076 大東市曙町3番26号
	担当者	職・氏名 中小企業相談所長 山中 義秀
	連絡先	TEL（直通）： 072-871-6511 Fax： 072-871-0330 E-mail： <a href="mailto:ymnk@daito-cci-or.jp">ymnk@daito-cci-or.jp</a>
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		平成11年4月1日 13名（経営指導員10名）（令和5年3月31日現在） 大東市 4,136（令和3年度経済センサス） 3,261（平成28年度経済センサス） 1,711（令和5年3月31日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること
□主な事業概要（定款記載事項等）		
①商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し又は建議すること。 ②行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 ⑤商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。 ⑥輸出品の原産地証明を行うこと。 ⑦商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑧商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 ⑨商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 ⑩博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 ⑪商事取引に関する仲介又は斡旋を行うこと。 ⑫商事取引の紛争に関する斡旋、調停又は仲裁を行うこと。 ⑬商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ⑭商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。 ⑮社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑯行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑰国際親善の増進を図ること。 ⑱前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。		

<p><b>(1) 事業の目標</b></p> <p>コロナ禍の影響を見据えながら、地域の小規模事業者等が抱える経営上の問題点を把握・解決するため、巡回及び窓口相談を通して潜在的なニーズの収集、事業所に応じた適切かつ効果的なアドバイスと具体的な支援を行うことにより活力にあふれた地域経済を構築することを目標とする。</p> <p>経営相談支援事業においては、コロナ禍で事業者が抱える課題について「課題の抽出・把握・提案・支援」と伴走型で支援を行い、問題解決のみならず中長期的な企業育成を目標とする。</p> <p>専門相談支援事業においては、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため、各種専門家と連携し、あらゆる経営課題に対して迅速に対応解決することを目標とする。</p> <p>地域活性化事業においては、小規模事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーを実施すると共に府連携及び広域連携、独自提案事業を行うことにより、販路開拓・マッチング・生産性向上・事業承継など小規模事業者の持続的発展へ向けた事業展開を目標とする。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p> <p>令和4年度も感染症の影響により、経営相談支援事業として以前のような活発な巡回ができなかった反面、「オンライン経営相談窓口」を設け、窓口相談による金融相談や販路開拓相談をはじめとする多角的な経営相談に対し、事業者と伴走する形で支援を行った。</p> <p>専門相談支援事業については、事業計画策定の他、コロナ禍における労務対策、経営戦略やマーケティング力向上等専門的かつ高度な問題解決に対し、専門家を活用した支援を積極的に推進した。</p> <p>地域活性化事業については、経営者及び管理職を対象とした「<b>DAITO BUSINESS CAMPUS</b>」事業を開催し、経営環境改善・人材育成の他、地域企業の活性化を目的とした女性を対象とした「起業家セミナー」を開催した。また、販路拡大を求めている事業所には、広域で実施された総合展示商談会への参加を推奨することで、各社のビジネスチャンス拡大を図った。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p> <p>経営相談支援事業についても、コロナ禍の影響を受けた事業者を中心にヒアリングを行ない、マル経融資や販路開拓支援など、小規模事業者等が抱える経営課題の発掘と相談内容に応じたアドバイスを実施し、課題解決へ導くことができた。</p> <p>専門相談支援事業については、ウイズコロナの新事業展開による事業計画策定や労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、多くの課題解決へとつなげることができた。</p> <p>地域活性化事業については、<b>DX</b>推進を含めたインボイス制度導入に向けた準備の推進の他、大阪府が提供する簡易版<b>BCP</b>様式による<b>BCP</b>作成を促進した。また、女性起業家セミナーでは、先輩起業家による事例紹介や各種経済支援施策を周知することで、その後の多様な伴走型支援につなげることができた。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p> <p>コロナ禍の影響が長引いたこともあり、今後の経営改善を目的とした新事業展開を模索している事業者が多く、きめ細かな支援が必要である。</p> <p>また、経営環境のスピードが高まっており、中小企業・小規模事業者に対して課題設定・認識・把握・解決策の検討・実行・検証など経営課題設定の重要性を示すとともに伴走支援が求められる。</p> <p>また、感染拡大防止を図るため、巡回相談や大勢の人が集まる地域活性化事業を従来と同じ頻度・方法では開催できなかったが、今後はオンライン等の活用機会を増やし、幅広い個社支援や地域活性化に貢献することが求められる。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p> <p>コロナ禍の影響を見据えながら各種経済支援施策の普及に努めつつ、経営相談支援事業については、マル経融資推薦業務や事業計画作成支援を中心に、小規模事業者が抱える課題把握を行い最適な解決策を提示できるよう注力する。</p> <p>専門相談支援事業については、各種専門家と連携することで、コロナ禍における専門的かつ高度な相談に対し、迅速な課題解決を図っていく。</p> <p>地域活性化事業については、従来の<b>BCP</b>支援セミナーに加え、経営環境に配慮した炭素経営セミナーや起業家育成セミナー等を実施することで地域の活性化に寄与したい。</p> <p>また、上記を推進する為、<b>IT</b>スキルなど経営指導員の資質向上を図り、支援ノウハウの共有化・高度化へ向けた取り組みを展開していく。</p>

**I 経営相談支援事業**

支援のポイント・成果

前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和4年度も事業者の課題解決に向けた相談案件にも真摯に対応した結果、目標を20%上回る275件の事業所カルテ実績につながった。コロナ禍の影響を受けた数多くの事業者へのヒアリングを行い、浮かび上がった経営諸課題に対して課題解決および経営力向上に向けてのサービス提案に取り組み各種経済支援施策の普及に尽力した。特に、小規模事業者の持続化を支援する事業計画作成支援、労働者の雇用維持を支援する労務支援、インボイス制度導入に向けた準備や対応を推進していくための記帳支援等を精力的に実施した。

【代表事例】

S社は平成23年に個人事業者として開業し、自転車カバーやサドルカバーなどの自転車関連雑貨を同社がデザイン設計、縫製を外部委託しECサイトにて販売を開始した。今後の実店舗販売に向けた事業計画の立案支援を行った。具体的には、S社が営む業界の市場動向から自社の強みやターゲット層・課題等について確認作業を行い、チャイルドシートカバーは子育て期に必要なアイテムだと認知が広がっている一方、カゴカバー商品の認知が乏しい状況にあり自転車販売店のみならず雑貨店への販路を広げることにより、より多くの方の目に留まる機会の獲得、デザイン性の高いパッケージ外装の改変による新規顧客獲得につながると考え事業計画の明確化に寄与した。結果、子育て中の方や買い物をされる方などの利便性や防犯性向上が図られ、地域の課題解決の一助・販売チャネルを増やすことによって同社の収益向上による持続的発展につなげることが期待できた。今後も必要に応じ金融や各種支援施策活用面で伴走型支援を行っていく。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	230	275	119.6%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	3	5	166.7%	5
金融支援（紹介型）	支援数	10	10	100.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	50	40	80.0%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	1	50.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	5	1	20.0%	2
記帳支援	事業所	50	62	124.0%	5
労務支援	支援数	45	48	106.7%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	7	700.0%	5
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	1
販路開拓支援	支援数	30	19	63.3%	3
事業計画作成支援	支援数	35	29	82.9%	4
創業支援	事業所	5	3	60.0%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	15	75.0%	4
コスト削減計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
財務分析支援	事業所	15	44	293.3%	5
5S支援	事業所	1	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	1	0	0.0%	1
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業承継支援	事業所	1	0	0.0%	1
災害時対応支援	事業所	0	0		-
フォローアップ支援	事業所	1	0	0.0%	1
結果報告	事業所	230	275	119.6%	5

**II 専門相談支援事業**

支援のポイント・成果

小規模事業者に対して今後の経営改善を図るため、課題設定・把握・課題解決に向けた各種経済支援施策の普及に努めた。税務支援においては、近畿税理士会の支援の下、当所会館内に所得税及び消費税の相談会場を設け、インボイス制度導入相談や個人事業者が自書申告できるように税務支援を行った。金融支援においては、民間金融機関との取引が希薄な小規模事業者に対して、資金繰り改善につながる金融支援を行った。また、事業所が抱える経営諸課題の中でも、高度かつ専門的な課題に迅速に対応するため、専門家との連携を図り、迅速かつ有益な課題解決へ導くことを意識した専門家連携支援を展開した。今後も専門家との連携を一層強化することで、ワンストップ機能を発揮し、迅速かつ有効な課題解決へ向けた支援を行っていく。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	回数	19	34	178.9%	5
専門家連携	継続	回数	10	14	140.0%	5
金融支援	継続	回数	10	17	170.0%	5

**Ⅲ 地域活性化事業**

支援のポイント・成果

地域活性化事業については、これまでのセミナー開催時や経営相談時に小規模事業者から要望があった事業を企画し、参加事業所にメリットを感じてもらえる視点を重要視した。対象についても、業種や規模も意識しながら各事業ごとに一定のターゲットを設け、事業のPRや参加勧奨を図った。

令和4年度も感染症の影響により一部の地域活性化事業を規模を縮小し開催せざるを得なかったが、管内中小・小規模事業者の多くで経営課題となっている「人材確保支援」「新事業展開支援」「人材育成支援」「創業支援」といったテーマを中心に事業を推進した。特に「**DAITO BUSINESS CAMPUS**」「中小企業における高校生採用支援事業」「ものづくり教育道場」といった人材確保・人材育成支援事業を、行政・教育機関・当所による三者の協力体制により推進した。また、創業支援の一環として「女性起業家セミナー」を行い、そこで得た情報を元に創業支援等併走型支援へつなげた。

一例として「**DAITO BUSINESS CAMPUS**」では、経営者を含めた管理職及び中堅社員の育成を目的としたセミナーを行った結果、「人材育成を行なっていく上で組織内の意識共有を促進していきたい」「部下のやる気を向上させるための必要な取り組みが理解できた」「目標達成に向けた課題解決の考え方、イノベーションを起こす思考法が身に付いた」などの感想をいただいた。また、こうした声を経営相談支援事業につなげるにより、課題に対応した支援を提案できたといった相乗効果も得られた。

今後もオンライン等の活用機会を増やし開催方法等で一層の工夫を凝らし、引き続き地域活性化事業も積極的に推進していく。

**(1) 単独事業**

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	大東まちゼミ	40	29	72.5%	79.3%	来店客数が増加した割合	80%	62.0%	77.5%	4
○	雇用・労働啓発セミナー	15	16	103.3%	100%	労務管理体制の見直しの必要性を感じた割合	70%	58.8%	84.0%	4
○	中小企業若手人材採用セミナー	15	11	73.3%	100%	人材採用スキルが向上した割合	70%	63.6%	90.9%	4
	ものづくり教育道場	20	17	82.5%	92.9%	業務へ実践できた割合	80%	85.7%	107.1%	4
	事業計画書作成セミナー	20	14	70.0%	92.9%	事業計画書策定に取り組みが高まった割合	80%	78.5%	98.1%	4
○	中小企業の社長と若年求職者の交流事業	8	5	62.5%	60%	社社の魅力発信意識、採用意識が高まった企業数	70%	40.0%	57.1%	3
○	SDGs マッチング事業	20	9	42.5%	100%	SDGsから検討した社会課題のビジネスを模索した割合	70%	50.0%	71.4%	3
○	高齢者雇用サポートセミナー	15	15	100.0%	100%	労務管理体制の見直しの必要性を感じた割合	70%	60.0%	85.7%	4
	DAITO BUSINESS CAMPUS	60	25	41.7%	100%	経営への参画意識が高まった割合	75%	60.0%	80.0%	2
○	DXに関するセミナー	30	48	160.0%	68.8%	ITを利用しての生産性向上に関する意識が高まった割合	70%	42.0%	60.0%	4
○	BCP策定支援事業	17	9	52.9%	100%	大抵府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数	80%	70.0%	87.5%	2
○	事業承継セミナー	15	7	46.7%	85.7%	事業承継の準備の必要性について意識が高まった割合	70%	57.0%	81.4%	2
○	中小企業における高校生採用事業	10	11	110.0%	90.9%	自社への理解促進や人材不足への危機感に意識が高まった割合	80%	72.7%	90.9%	5
	ビジネス講演交流会	70	62	88.6%	100%	今後の経営改善のために役立つ割合	70%	81.0%	115.7%	4
○	クラウドファンディング活用セミナー	15	8	53.3%	100%	効果的な経営手法を学び導入を検討している企業数	70%	50.0%	71.4%	3
○	女性起業家セミナー	15	12	80.0%	100%	起業意識が高まって起業準備イメージができた参加者の割合	70%	41.6%	59.4%	3

**(2) 広域事業（幹事事業のみ）**

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	製造業のための安全道場	24	28	116.7%	100%	安全対策の意識向上及び自社の労務事故減少に貢献割合	90%	95.0%	105.6%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調査の記載と合わせてください。

大東商工会議所

事業名		大東まちゼミ							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商業統計調査によると、大東市の小売業の事業所数は2002年の1,002件から2016年には538件へと5割近く減少している。このような状況の中、各個店の店主が商品知識やノウハウを提供することで新規顧客との出会いの場をつくり、各商店とお客様との交流を通し、各商店主へのファンづくりを展開する本事業「大東まちゼミ」の更なる推進により新規顧客獲得の可能性拡大につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市内の小売業・サービス業を中心に、自らの商品知識やノウハウの情報発信が可能な事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	地域のお店の方が講師となって、プロならではのコツや専門知識から趣味の話までノウハウ等を無料で受講者(顧客)に伝えるコミュニケーション事業「大東まちゼミ」を開催。 大東市報に案内パンフレットを同封するとともに、受講者に対してまちゼミ限定クーポンを配布することにより受講促進・販促創出等相乗効果を図った。 【開催期間】 令和4年4月16日(土)～5月15日(日)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	案内パンフレットを大東市報に同封し、約5万世帯に周知								
④相談相乗	「販路開拓支援」カルテ化企業数 1社(カルテ化目標 参加事業所の25%以上)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	72.5%	満足率	79.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の大東まちゼミ事業を開催したことにより、各社がこだわりの逸品の開発や付加価値を付けたサービスの創造ができたと感じている。また、自店の強みやセールスポイントの見直しをしたことにより、自店の効果的なアピール・新規顧客の獲得に向けた取り組みにつながったと感じている。							
		代表指標	来店客数が増加した参加事業者の割合						
		数値目標	80%	実績数値	62.0%	目標達成度	77.5%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規の顧客が獲得できた</li> <li>●費用対効果につながった</li> <li>●モバイル端末の営業ツールへの活用が増した</li> <li>等 多数意見が寄せられた。</li> </ul> M社は新規顧客獲得につながり満足されており、今後に向けてターゲットの明確化・自店のイメージアップに取り組んでいくとの事。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)				目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や新規顧客の獲得数については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、販路開拓の支援を行なっていくとともに、顧客満足度向上の手法やマーケティング戦略等の支援が必要と考えている。 <目標達成度: 5名以上 18/29>							

大東商工会議所

事業名		雇用・労働啓発セミナー																																							
想定する実施期間		3 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>安倍内閣の「働き方改革」が本格的に施行され始め、2020年4月から中小企業の時間外労働の上限規制の適用が始まった。臨時的な特別の事情があっても年6回まで、かつ時間外労働は年720時間以内、時間外労働と休日労働をあわせて月100時間未満かつ複数月(2～6カ月)平均で80時間以内とする必要がある。労働者の残業時間を減らすために、労働環境の改善に向けた取組や人材確保等に取り組む必要があるが、中小企業の状況は依然厳しいものがある。</p> <p>そこで、本事業を通じて中小企業に働き方改革関連法や民法改正に伴って変更となる賃金関係の知識の習得と同時に、就業規則の変更や労働環境の改善例とその効果、人材確保に向けての具体的な取り組み例や成功事例を紹介する事で、労働者が働きやすい雇用環境となり、経営の安定化を図る事ができるようになることが、本事業の目的である。</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業者の事業主、管理職、総務・人事・労務担当者等																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和4年11月29日(火)</p> <p>会社に必要な労務の基礎知識、実際にあった労務トラブルやその解決法などの実践的なセミナーを実施&lt;テーマ&gt;</p> <p>【労務トラブル解決セミナー】</p> <p>会社として必要な労務についての基礎知識の紹介や実際にあった労働者との労務トラブル事例の紹介、その解決方法、最新の判例の紹介やパワハラとなるような事例について など</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。</td> </tr> <tr> <td>④相談事業相乗</td> <td colspan="7">「労務支援」等 カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 5社)</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。							②広域連携								③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。							④相談事業相乗	「労務支援」等 カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 5社)						
	①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。																																							
②広域連携																																									
③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。																																								
④相談事業相乗	「労務支援」等 カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 5社)																																								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.5	支援実績率	103.3%	満足率	100.0%																																	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーを開催したことにより、「裁判になったときの布石の大切さがわかりました」「記録を残すこと、段階をふむことの重要性が理解できた、管理職にも一定のレベルで理解し、日々の管理業務へ活かしてほしいと感じた」「労務管理についての法整備の基礎が分かりやすく整理されており理解が深まりました。具体的なトラブルの対処方法についても説明頂き、非常に実用性があると感じ参考になりました」等意見が寄せられ、労務管理についての理解が深まり、労働者が働きやすい環境となるような取組みにつながったと感じている。</p>																																							
	代表指標	アンケートにおいて労務管理体制の見直しの必要性を感じたと回答した割合																																							
	数値目標	70%	実績数値	58.8%	目標達成度	84.0%																																			
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●T社は注意をしても直してくれない社員への具体的な対処方法がわかりました、との事である。</li> <li>●今後は働きやすい職場に向けての改善につなげていきたい。</li> <li>●労働法の基礎がわかったので、社内での管理体制の見直しを行いたい。</li> </ul> <p>等、多数の感想が寄せられた。</p>																																							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の現在の状況や問題点を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。																																							

大東商工会議所

事業名		中小企業若手人材採用セミナー							
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現在学生の中には、やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でも良いという志向の方が増えてきているものの、新卒採用を成功させるためには、中小企業にとっていかに「求める人材の明確化」「会社の強み」「アピールポイントの見直し」などWEBを含めた人材募集方法や面接・選考方法を再度見直す必要がある。また、若年者の早期離職が問題となっており、会社の戦力となる前に離職してしまうことは、事業主にとっても従業員本人にとっても損失になる。従業員が早期退職することなく職場に定着し、その能力を発揮できるようにするためには、雇用管理の在り方を振り返り、必要な改善を進めることが重要である。そこで、少しでも有能な人材を確保するための採用に係る必要な知識や手法を習得し、今後の雇用環境改善につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業の経営者、人事担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和4年6月3日(金)</p> <p>昨今のコロナ禍の中、働く環境の変化や若者の思考・マーケットの変化など人材採用への影響が大きい中、求職者・企業双方の動向分析に加え、若手人材を採用するための「求人広報」「オンライン/オフライン選考」など、円滑な人材採用を実現する上での必要な最新の情報を学んでいたための実践的なセミナーを実施</p> <p>〈テーマ〉</p> <p>①コロナ禍で変わる若者の就職観・思考の変化 ②効果的な採用活動の進め方 ③インターンシップの重要性と基本設計 ④WEBツールの活用</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	大阪府担当部署担当者とカリキュラム内容について協議を行った。						
		③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						
	④相談事業相乗	「労務支援」「人材育成計画作成支援」 カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 5社)							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「人材採用スキルが向上した」「求める人材の具体的な人物像や企業の魅力を整理していきたい」「ホームページでの会社PRや採用ページの活用を考えていきたい」等意見が寄せられ、人材採用や進め方にかかる準備の必要性について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて人材採用スキルが向上したと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	63.6%	目標達成度	90.9%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●採用基準を明確にしていく</li> <li>●求人原稿の中に新型コロナウイルスへの対応を記載する</li> <li>●インターンシップ・オンライン面接を取り入れていく 等、多数の感想が寄せられた。</li> </ul> <p>M社では、今回のセミナーで学んだことを踏まえ、合同企業説明会(マッチングイベント)への参加を行うこととなった。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、人材募集に向けた選ばれる企業の情報発信、企業情報の魅せ方、選考ツールの精査など即戦力となる人材の効果的な採用に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		ものづくり教育道場							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大東市は、大阪東部のものづくり集積地の一翼を担い、はん用機械器具・金属製品・生産用機械器具・非鉄金属など多様な業種で構成されている製造業が基幹産業である。他方、全体として優れた技術力、小ロット、短納期などに対応しているものの、最終製品を製造している事業者が少なく、市場での認知度が低く、経営基盤は総じて脆弱である。また、後継者不足や雇用面での人材不足なども大きな課題となっている。こうした中、管内基幹産業の生産性向上を図る目的で、産学官連携体制による製造業を対象とした人材育成事業「ものづくり教育道場」を展開し、結果として域外経済の流入を増加させ地域経済の活性化に貢献する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	生産性向上が必要な管内ものづくり企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	第1回 【日時】令和4年6月28日(火)9時00分～12時00分 【会場】大東市立市民会館 2階 202会議室 【講師】大阪産業大学 工学部 機械工学科 榎真一 氏 【内容】ものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を学ぶ。 第2回 【日時】令和5年2月15日(水)13時30分～15時30分 【会場】大阪産業大学 東キャンパス 実習A棟2 【講師】大阪産業大学 工学部 機械工学科 榎真一 氏 【内容】ものづくり現場に携わる初心者を受講対象者とし、生産性(作業時間、工具寿命)、加工精度に影響を及ぼす切削条件を適切に選定できる人材を育成します。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	大東市との連携で「ものづくり教育道場」をメディア等へ広報頂く。								
④相談相乗	「人材育成計画作成支援」「労務支援」 カルテ化企業数 6社 (カルテ化目標 参加事業所の50%以上)								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	82.5%	満足率	92.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーでは、第一弾として、ものづくり現場に不可欠な報告書作成等において必要とされる読解力や文章表現の基礎知識を習得してもらうため、大阪産業大学機械工学科の「テクニカルコミュニケーション」という授業を一部アレンジし、ビジネスで必要とされる「論理的な文章」を学ぶほか、「説明責任」「営業秘密」などの技術者倫理を学んで頂いた。 第二弾では、ものづくり現場に携わる初心者を受講対象者とし、生産性(作業時間、工具寿命)、加工精度に影響を及ぼす切削条件を適切に選定できるための技能習得を目指した。 受講者は若手の社員が多く、業務にも実践できるとの回答割合も目標値を達成することができた。また、参加者満足度も高いセミナーとなった。 当日は短い時間ではあったが受講者同士で名刺交換・意見交換を行い、普段なかなか関わり合いの無い従業員同士で意見交換ができたのは大変有意義であった。							
		代表指標	参加事業者のうち、業務へ実践できるとの回答割合						
		数値目標	80%	実績数値	85.7%	目標達成度	107.1%		
	成果の代表事例	業務上文章を作成することが多く、早くて上手な文章作成のコツを知りたかったため受講されたが、今回の内容をもとに簡易的にまとめた文章が作成できるようになったという事例があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	製造業が基幹産業の当市において、製造業向けのセミナーを実施することは需要もあるため、来年以降も引き続き実施していく。内容については市や大学、製造業へのヒアリングなどを通じて検討していきたい。 また、受講者数に関して、切削加工の場合、会場である大学の施設の問題で少人数しか受け入れできなかった。もう少し受け入れをして欲しいが、大学の授業の兼ね合いや講師の都合もありなかなか難しかった。受講者を1社1名に絞るなどの工夫が必要だと感じた。							



大東商工会議所

事業名		事業計画書作成セミナー							
想定する実施期間		4年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	環境変化のスピードが速く先行き不透明な現在では、経営ビジョンにおける経営目標を明確化し、これを事業計画書に落とし込み、その事業計画に沿って事業を遂行していくとともに、その過程をクライアント・従業員・金融機関などのステークホルダーと共有し、事業展開を行っていくことが必須となっている。そこで、事業計画書作成のノウハウを習得してもらい、資金調達を容易にし、従業員の意識を大きく変革し、経営強化につなげていく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、経営力強化に取り組む管内事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和4年7月12日(火)・7月22日(金) 事業者がターゲットとしている顧客ニーズ、競合他社に対する差別化の仕方、商品・サービスのあるべき内容を再認識し、自社の経営の向上につなげるため、事業計画書策定に係る知識を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 〈テーマ〉 ①目標設定とアクションプラン(SWOT分析、STPとマーケティングの4P) ②採択される事業計画書の要諦 ③実践「事業計画書」の作成							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。								
④相談相乗	「金融支援」「事業計画作成支援」 カルテ化企業数 4社(カルテ化目標 10社)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「事業計画書策定に取り組む意識が高まった」「効果的な事業計画書の作成方法が理解できた」「経営革新の重要性が理解できた」等意見が寄せられ、自社の現状や課題の見極め、成り行き任せの経営からの脱却について意識向上につながったと感じている。							
		代表指標	アンケートにおいて事業計画書策定に取り組む意識が高まったと回答した割合						
		数値目標	80%	実績数値	78.5%	目標達成度	98.1%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自社のSWOT分析を行い、強みや弱みの把握、経営理念・ビジョンの作成を行っていく。</li> <li>●社員の意見も参考にして経営方針を決定していく等、多数の感想が寄せられた。</li> </ul> <p>A社において、ウイズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために新分野展開(キッチンカーでの販売)を行い、事業の一つの柱になった。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、中・長期的な経営計画の作成、新しい販売方式の導入、差別化できる商品開発などに向けた支援が必要と考えている。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		中小企業の社長と若年求職者の交流事業							
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	グローバル化や少子高齢化、そしてコロナ禍など社会の急激な変化は、産業構造の変化や労働市場、就業状況の流動化など、社会や企業に対して大きな変容をもたらしている。そのような中、企業は将来に活路を見出す原動力として有為な人材を切望している一方、就職や将来の進路に不安や悩みを持つ学生が増加している。については、大学と中小企業の橋渡しを行うことを目的に本事業を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	積極的に地元学生の育成や雇用を検討している地域中小企業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施時期】 令和4年6月6日・9日、7月11日・14日に実施(全6コマ) 【具体的な内容】 ①社長講話 テーマは「働くということ」「業界のこと」「仕事の意義」等。自社紹介を行い魅力を伝えた。 ②学生との交流意見交換 社長講話を受け、今度は学生側から質疑応答形式で、講話の内容などに関する意見を述べることで双方向の理解促進、相互交流を図った。 ・OSAKAしごとフィールドの紹介							
		＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	「OSAKAしごとフィールド」の紹介を行った。府のご担当が当講義を見学。						
④相談相乗		本事業を通じて、自社の魅力発信意欲や採用意欲を向上させた。カルテ化は3社							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	8.0	総支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	62.5%	満足率	60.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足度は100に対し「60」であった。講話は、対面形式で行われ、社長と学生のやりとりが活発に行われた。その結果、企業サイドの採用意識を醸成することができたと考えている。また、社長サイドからは「学生さんからの質問内容から感じられるのは画一的な考え方をしているのではないかと、と思われること」など、ある意味、現在の学生気質の一端ともいえる傾向に気づかれた向きもあった。 また受講された学生のレポート(感想)も提出され、学生参加者数は延べ296名(学生のレポート数より算出しており、実質はもう少し多くなる)であった。							
		代表指標	アンケートにおいて自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業数						
		数値目標	70%	実績数値	40.0%	目標達成度	57.1%		
	成果の代表事例	今の学生の考えを知る機会であり、自分の勉強の為ということで講義いただいた社長から、時代の流れや、今の学生がどんなことを考えているか知ることができ、採用意欲が向上したことをはじめ、若い人を対象とした今後のビジネスの展開につながり有意義であった、との感想があり、当社の学生向けのプレゼン資料をブラッシュアップするようになった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講話の進め方のなかで、社長サイドより「自由討議」の時間があるのではないかと、その方が学生の本質がつかめるのではないかと、とのご意見をいただいた。確かに、たとえば少し、学生同士が討議していただく時間を設けていただくと、「受け身」の部分が改善され、より一層、講義内容の浸透と、そして交流がより深まることが予想できる。については次年度において、当事業のなかで学生同士での自由討議の時間を取り入れ、「自社の魅力発信意欲、採用意欲が増したと回答した企業数」を増やしていきたいと考える。							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		SDGs マッチング事業								
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現状では、SDGsのゴールだけを考えても、どうしても抽象的になってしまい、具体化されない傾向があると思われる。については自社において、「SDGsが達成される社会」を目指して取り組む「社会課題」を明らかにし、その社会課題をビジネスの手法で、「課題解決と価値創造」を図っていくための「具体的な」打ち手の検討にチャレンジすることが当事業の目的である。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小および零細事業者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和5年1月26日(木)、2月1日(水)に実施。 内容は、26日が「SDGsとは」「中小企業のSDGs経営の事例」「SDGs経営計画について」「KPIの設定について」など。1日は「SDGs経営計画を社内一丸となって取り組む方法」「自社のSDGs経営計画について(意見交換)」などを実施。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府担当部署担当者とのカリキュラム内容について協議を行った。また、担当部署担当者に当セミナーで施策の説明をしていただいた。							
②広域連携										
③市町村連携	市役所窓口で当セミナーをPR。									
④相談相乗	本事業を通じて、SDGsをツールとして自社でできる社会課題の解決を見つけていくことを推進。カルテ化は4社。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	8.5	支援実績率	42.5%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	26日は、SDGsで企業価値を掘り起こすことを目指し、自社において、どのような社会課題の解決に向け、取り組んでいけるかという課題を明確にし、目標を設定することを学んだ。そして、「SDGsの取組テーマ設定」を具体化するワークシート表の提供がなされた。								
		1日においては、各社はそのワークシート表を用い、それぞれ社会課題に対するアプローチを検討された結果についてプレゼンを実施。それぞれがSDGsに係る今後の取り組みについて明確にされた。そしてそのSDGsに係る今後の取り組み目標を、経営に統合することにより、SDGs経営を進めていく方法について説明が行われた。								
		代表指標	アンケートにおいてSDGsから検討した社会課題のビジネス化を検討したいと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	50.0%	目標達成度	71.4%				
	成果の代表事例	SDGsに対する取り組みテーマとして、今後、自社配送による燃料とCO2削減のため、電気・水素車の購入、そして倉庫電力を自社で生産するなどの企画をプレゼンして下さった企業があった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援実績率の達成率が42.5%という低い達成率であった。このセミナーでは、未来への共感をベースに、各々のありたい姿に向けた取り組みを始められる企業を増やすことを目指したのであるが、参加企業が少なく反省している。 次年度においては、SDGsセミナーは実施しないが、参加された事業者が、脱炭素経営に関する重要性に気づかれ、取り組んでいこうという意識が醸成されることを目指し、「中小企業のための脱炭素経営セミナー」を開催する。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		高齢者雇用サポートセミナー								
想定する実施期間		4 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2021年4月より、改正高齢者雇用安定法が施行され、また高齢者雇用継続給付金が2025年から給付率が縮小し、段階的に廃止となる。中小企業において若い人材の入社や定着が難しい昨今の状況において、今後高齢者の雇用や継続雇用に関しては今まで以上に計画的に取り組む必要性があると考えられる。また、改正高齢者雇用安定法でも、65歳からの働き方の一つとして、創業支援等措置を講ずる事ができる、となっているが、企業への認知度はあまり高くないと思われる。そこで、本事業を通じて中小企業に高齢者の雇用に関する賃金制度・評価方法関係の知識の習得と同時に、委託契約という働き方や高齢者雇用継続給付金などの助成金制度を活用した人材確保に向けての具体的な取り組み例や成功事例を紹介する事で、労働者が働きやすい環境となり、経営の安定化を図る事ができるようになることが、本事業の目的である。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域商工業者の事業主、管理職、総務・人事・労務担当者等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和 4年10月26日(水) 高齢者の採用や継続雇用に関する取組、賃金関係や支援施策の周知と、業種別に高齢者雇用についてどのように活用しているかという事例や意識改革などを伝える実践的なセミナーを実施 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。							
②広域連携										
③市町村連携		大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。								
④相談相乗	「労務支援」等 カルテ化企業数 6社(カルテ化目標 5社)									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「高齢者雇用はすでに行っているが、メリットや活用しているとは言い難い面もあるので、今回の内容は参考になり、活かしていきたいと感じました」「高齢者の現状から入り、高齢者を雇い続けるメリットまで説明されたのがわかりやすく、自社でも活かそうな実例をあげられたのが勉強になりました」等意見が寄せられ、高齢者に長く働いてもらうための取組みにつながったと感じている。								
	代表指標	アンケートにおいて労務管理体制の見直しの必要性を感じたと回答した割合								
	数値目標	70%	実績数値	60.0%	目標達成度	85.7%				
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●N社は高齢者の採用・継続雇用を考え、働きやすい環境づくりや社内規則の見直しを図っていくこととなった。</li> <li>●魅力ある職場づくりに向けた取組を積極的に推進していく</li> <li>●高齢者の賃金等の見直しを検討していく</li> </ul> 等、多数の感想が寄せられた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。								

大東商工会議所

事業名		DAITO BUSINESS CAMPUS								
想定する実施期間		4 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業、小規模事業者を取り巻く経営環境はより一層厳しさを増す中、管理職・中堅社員は、職場の最前線を担う重要な戦力である。企業が発展していくためには、経営者一人の力だけでなく、経営者をサポートする管理職・中堅社員の活躍が不可欠である。そこで「人材育成」の面に着目し、今後企業の中核となる人材を対象に、OJTではなかなか学べない内容の講習会を商工会議所のスケールメリットを活かして開催する事により、低廉かつ効率的に人材を育成する事が出来、また地域内の他の企業と研鑽しあう事によって相乗効果が期待できる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材育成を目指す中小企業等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>① <b>DAITO BUSINESS CAMPUS PL思考からBS思考へ</b> 令和4年8月24日 大東市民会館 &lt;内容&gt;損益計算書・貸借対照表の構造、損益分岐点利益構造、財務分析の手法など</p> <p>② <b>DAITO BUSINESS CAMPUS</b> 製造現場だけではない、製造事務から一般事務まで「5S」で変わる劇的事務効率 令和4年9月21日 大東市民会館 &lt;内容&gt;働き方改革の必要性、5Sの重要性、5Sのチェックリストなど</p> <p>③ <b>DAITO BUSINESS CAMPUS</b> 相手に響き、結果を出すスマートプレゼンテーションの技術 令和4年11月16日 大東商工会議所 &lt;内容&gt;ロジカルシンキングの考え方、デリバリースキルの要素など</p>								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携		④相談相乗	「労務支援」「財務分析」「事業継続計画等作成支援」「人材育成計画作成支援」など カルテ化企業数 8社	
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	41.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「財務の仕組み・キャッシュフローを理解する事が出来た」「タイムマネジメントに入る前に机周り・職場周り・仕事周りからの整理で時間を捻出する事が理解できた」「論理的に学ぶ方法を明確にわかりやすく理解ができ、プレゼンテーション作成に有用である」等意見が寄せられ、自社の現状や課題の見極め、成り行き任せの経営からの脱却、今後の新事業展開について意識向上につながったと感じている。また、講師や参加者間(グループディスカッション)で話し合うことにより、身近に感じ今後の展開を期待している。さらに参加者の属性は様々(経営者から管理職)ではあるが、共通して述べられたのが派遣元の企業に学んだ内容を共有するとの事であった。部署の垣根を取って勉強会を開く・部門別で検討するなど、経営意識の参画を高める事が出来たと述べられていた。								
		代表指標	経営への参画意識が高まった割合							
		数値目標	75%	実績数値	60.0%	目標達成度	80.0%			
	成果の代表事例	研修で学んだ財務・5S・文章作成の部門横断による勉強会を立ち上げる。財務に関しては部門別会計を目指す・5Sについては1日5分の整理チーム・文章作成についてはパワーポイントの書類作成講習に取り組む事となった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	同事業に対する周知が乏しかったこともあり、会員企業の人材育成に必要な要望を把握する事が不足していた点や今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、人材育成に係る問題点の抽出や効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	60.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	財務の仕組み・キャッシュフローを理解する事が出来た事により、限界利益・損益分岐点を月次で考える仕組みを行なうようになったと聞いている。							
		指標	アンケートにおいて財務分析への理解が深まったと回答した割合						
		数値目標	75%	実績数値	60%	目標達成度	80.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	30.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	「働き方改革」と叫ばれているが、整理整頓を通じて効率よくする事が机周りから重要である事を痛感したとの思いから、一日5分の整理時間を作る。「ワンベスト」備品は一つ以上のアクションを実施するようになったと聞いている							
		指標	アンケートにおいて5Sへの取り組み意識が高まったと回答した割合						
		数値目標	75%	実績数値	60%	目標達成度	80.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	35.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	三角ロジックによる組み立てとPREP法は大変参考になり、営業トークに活用できると考え実践されたとの事。先日訪問したところ、今までは「感覚」を重視していたが、頭の中を整理してプレゼンする事により、時間が短縮できたと述べられていた。							
		指標	アンケートにおいて事務能率の向上につながる企画書・提案書の作成手法が理解できたと回答した割合						
		数値目標	75%	実績数値	60%	目標達成度	80.0%		
その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		

大東商工会議所

事業名		DXに関するセミナー							
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT/IoTは、情報の収集・蓄積、解析、反映・応用により、産業のあらゆる面において変化をもたらし、あわせてビッグデータやAIの活用により、各産業のビジネスや産業構造そのものを大きく変革すると言われている。更にビジネスだけに留まらず、社会分野等の幅広い分野での活用の可能性も期待され、今後あらゆる産業や分野がIT/IoTに取り込んでいくことが予想される。それにより大きな経済的効果を期待されている。また、コロナ禍における今後の企業の発展にも大きく関わってくると思われる。そこで、IT化がもたらすであろう今後の経済とビジネスの変化について予測し、柔軟に自社に導入する事ができるように、毎年進化しつつある現状を踏まえた上で「自社でDXを推進してみる」事が検討できるようなセミナーを実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、今後IT化やDXに関心のある事業者。現在、取り組んでいないが取り組む意欲や予定のある事業者。また取り組んでいても、うまく活用ができていないと感じている事業者など。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>① 【日時】令和 4年 9月28日(水)</p> インボイス制度についての開設と、クラウド会計の導入についてセミナーを実施 <テーマ> インボイス制度・クラウド会計活用解説セミナー インボイス制度についての導入方法や、導入しなかった場合のデメリット、準備の必要性やクラウド会計の手軽に効率化を図れる要因と自計化について など <p>② 【日時】令和 5年 1月23日(月)</p> Googleマップの活用方法とインボイス制度についてのセミナーを実施 <テーマ> Googleマップで集客してみよう！インボイス制度セミナー Googleビジネスプロフィールの説明や登録方法、インボイス制度の概要と中小企業に向けた支援措置等について など <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	大阪府とカリキュラム内容や講師の選定を協議した。						
		③市町村連携	大東市には、チラシの配架による周知を依頼した。						
	④相談相乗	「IT化支援」等 カルテ化企業数 9社(カルテ化目標 5社)							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	48.0	支援実績率	160.0%	満足率	68.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「インボイス制度について少し理解できましたが、まだまだこれからわからないところが出てくると思いますのでよろしくお願いします」「インボイスでは年明けに決まった支援措置が聞けて、良かったです」「Googleはもうすこしふみこんで話を聞きたかった」「インスタグラムの活用方法を詳しく知りたいです」等意見が寄せられ、DX化について興味を持っていただけるような取組みにつながったと感じている。							
		代表指標	ITを利用しての生産性向上に関する意欲が高まった企業数						
		数値目標	70%	実績数値	42.0%	目標達成度	60.0%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●H製作所においては、クラウド会計の導入へとつながった</li> <li>●G社やR社ではGoogleマップの導入のため、ビジネスプロフィールを設定された</li> <li>●F氏においては、インボイス導入と同時に会計ソフトを検討中である</li> </ul> 等、多数の感想が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の現在の状況や問題点を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する	支援企業	15.0	支援企業	30.0	支援	200.0%	満足率	70.0%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「クラウド会計を行うことのメリットが理解できた」「クラウドを活用した業務効率化を考えていきたい」等意見が寄せられ、事務の効率化を進める準備の必要性について意識向上につながったと感じている。								
		指標	ITを利用しての生産性向上に関する意欲が高まった企業数							
		数値目標	70%	実績数値	23%	目標達成度	32.9%			
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する	支援企業	15.0	支援企業	18.0	支援	120.0%	満足率	66.7%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「スマホやPCを利用して生産性や売上向上につなげたい」「身近なアプリを活用して自店を宣伝していきたい」等意見が寄せられ、他社との差別化を図るためサービス向上を行っていき更なる経営の質の向上への意識改革につながったと感じている。								
		指標	ITを利用しての生産性向上に関する意欲が高まった企業数							
		数値目標	70%	実績数値	61%	目標達成度	87.1%			
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				



令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		BCP策定支援事業						
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大規模災害になるといわれる「南海トラフ巨大地震」、地元においては上町・生駒の断層帯の地震のみならず、風水害・サイバー攻撃等様々な脅威が存在する。また、実際に30年度は大阪北部地震・台風21号により大阪府が被災地となり、昨年度においては新型コロナウイルス感染症への対応等、企業経営上の危機管理強化が望まれる中、「被害を最小限に抑え、速やかに事業を継続する」ための準備がBCPであるが、府内中小企業のBCP策定率は2割に満たないとの結果にとどまっており、未だ策定が進んでいない企業は多い状況にある。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市域を主とした府内の事業所						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業継続計画の基礎知識と超簡易版BCPこれだけは！シートの策定 令和4年9月14日〈水〉商工会議所 3階にて開催 7社7名参加 <内容> BCPの概要、机上模擬訓練の手法、超簡易版「これだけは！シート」作成の進め方など <事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携	大阪府担当部署にカリキュラム内容を相談の上、当日 担当者より施策の案内を周知					
		②広域連携						
③市町村連携		広報及び災害等の情報事例提供をいただいた。						
④相談相乗	今回のセミナー後、巡回活動を通じ聞き取りを実施し本格的なBCPを作りだした事業所は1件のみであったが、現在は制作中のためカルテ化に至らなかったが、次年度以降専門家の派遣等支援を通じカルテ化を目指す。							
計画に対する実績 (数値)	総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	52.9%	満足率	100.0%
事業全体の実績 / 目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	参加者全員が共通していたのが、災害リスクに対して何らかの対応を検討する事が必要と感じた事である。又講義及び支援を通じて「少し時間を費やす事によって、会社が置かれているリスクの把握に加え、取引先が自らの会社が必要不可欠な存在であると見つめなおす事が重要である。」との声を頂戴した。						
	代表指標	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数						
	数値目標	80%	実績数値	70.0%	目標達成度	87.5%		
	成果の代表事例	自社のBCP策定後、もう一度避難経路・避難場所の確認も兼ねて避難訓練を実施。また備蓄も実施し消費期限の半年前を目途に備蓄品の確認も兼ねた避難訓練も実施できるようBCPもこれにとどまらず見直しを実施していくとのお声を頂戴した。						
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	BCPに対する必要な要望を把握する事が不足していた点や今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、BCPの必要性及び普及啓発に関する広報を通じて掘り起こしを図る。						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	46.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	研修内において「これだけはシート」を用いて自分の会社の情報をもとに作成してもらった。後日巡回時にフォローする事により簡易版として当面使用に耐えうる内容となったとの声を頂戴した。								
		指標	大阪府作成簡易版BCPシートを作成できた企業数							
		数値目標	80%	実績数値	70%	目標達成度	87.5%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	取引先からの信頼もさることながら、地域企業として「雇用を守る」という強い意志を感じた								
		指標	本格的なBCPを策定した企業数							
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

大東商工会議所

事業名		事業承継セミナー								
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小・小規模事業者の経営者の内、65歳以上の経営者は全体の約4割を占め、今後数年で、多くの中小企業が事業承継のタイミングを迎えるとみられる。また、中小・小規模事業者が今後も事業を継続・発展させていくために、次世代へスムーズに「事業承継」を進めることが求められている。 そこで、事業承継への気づきや意識づけ、基本的な知識・考え方を学んでいただくことで、将来、事業承継を円滑に実施できる企業が1社でも多く生まれることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、将来の事業承継を検討する管内事業所すべてを対象とする								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和4年7月7日(木)	事業承継に向けた準備を早期に始めていただくための重要性や事業承継をめぐる様々な課題への対策、M&Aのリスクや流れ・資金調達・事業承継引継ぎ支援センターの活用など円滑な事業承継を実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 <テーマ> ①経営課題解決への糸口～M&Aという選択肢について～ ②実例を交えたM&A成功のポイント							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	事業承継支援チーム事務局とカリキュラム内容について協議を行った。							
②広域連携										
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。									
④相談事業相乗	「販路開拓支援」「事業計画作成支援」 カルテ化企業数 3社(カルテ化目標 5社)									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	46.7%	満足率	85.7%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「事業承継の準備の必要性について意識が高まった」「事業承継の流れや取り組むべき事項が理解できた」「経営状況や課題を見える化していきたい」等意見が寄せられ、事業承継に係る知識習得につながったと感じている。								
	代表指標	アンケートにおいて事業承継の準備の必要性について意識が高まったと回答した割合								
	数値目標	70%	実績数値	57.0%	目標達成度	81.4%				
	成果の代表事例	●会社の知的財産・魅力を洗い出していく ●魅力的な経営状態への引き上げを図るために、競争力強化の経営改善を行っていく ●引継ぎの条件(売却金額や雇用維持等の条件)を検討していく 等、多数の感想が寄せられた。 T社は、講師に個別相談を行い、自社の知的財産の磨き上げをして経営改善を図っていくこととなった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業承継に対する周知が乏しかったこともあり、経営者自身の事業承継に向けた準備に必要な認識が不足していた点や今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足度や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、事業承継に係る問題点の抽出や効果的な課題解決に向けた支援が必要と考えている。								

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		中小企業における高校生採用事業						
想定する実施期間		2 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	従業員300人未満の企業の求人倍率は、5.28倍と高止まりの状況で、中小企業にとって人材確保は依然として大きな課題となっている。こうした中、高校生の採用を強く求めている地域の中小企業に対し、これからの地域、ひいては大阪を担う高校生が中小企業等の魅力に触れる機会をより多く創出することが重要となってくる。 そこで、大阪府立城東工科高等学校の学生に対し、製造業を営む中小企業の魅力に触れる機会を創出するべく本事業を展開する。本事業を展開することにより、地域の中小企業と城東工科高等学校生間の橋渡しを行い、人材不足に深刻な課題を抱えている製造業を営む中小企業に人材面の支援を行うことを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材不足の課題を抱えている製造業の事業所全てを対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	◇実施体制：大阪産業大学、大東市、大東商工会議所の3者連携にて実施。具体的には、城東工科高等学校が学生を派遣、市は広報、当所は受入企業の募集や事業運営全般を担当することで互いに協力し合った。 ○実施時期：2022年9月5日(月)および9月7日(水) 各日社とも14時から16時 ○実施場所：参加企業(製造業) 11社 (満足率91%) ○実施内容 ・城東工科高等学校の2年生が、5名前後のグループをつくり、11班に別れ各社を2日訪問 ・経営者による企業概要説明等⇒社内見学⇒経営幹部や若手社員等とのヒアリングを実施 ・企業概要説明の一環で簡単な職場体験などを取り入れた企業もあった ・参加企業と学校との事業報告会を12月23日(金)オンラインにて開催 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
	①府施策連携	大阪府 雇用推進室 就業促進課と事業内容について協議を行った。						
	②広域連携							
③市町村連携	大東市との連携で、本取り組みを広報いただいた。							
④相談相乗	本事業を通じて、参加事業所の事業計画作成支援や販路支援といった面におけるプラスの相乗効果が認められた。カルテ化は4社、36%(目標50%)							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	110.0%	満足率	90.9%
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	満足度アンケートを実施したところ、満足率は <b>90.9%</b> であった。 城東工科高等学校で学ぶ学生の企業訪問を受け、工場見学のほか経営幹部や若手社員等とのヒアリングを実施したことで、参加企業から以下の感想を得た。 ・弊社のような業界や企業があるということを知っていただけた有意義な機会でした ・弊社のアピール不足か、次回は生徒さんからもっと興味をもたれるような工場見学にしたい ・参加生徒が将来どのような仕事をしたいかなど率直な意見を確認することができ、今後の求人活動に活かしたい ・意見交換を通じて、学生にとって興味や関心のあることがよくわかりました ・改めて我々の業務ならびに存在意義について考える機会をいただきました 本事業を実施した結果、参加企業の魅力増進や理解促進につながるだけでなく、人材不足に深刻な課題を抱えている製造業を営む中小企業にとって課題解決へのきっかけづくりを支援する事業になった。						
	代表指標	自社への理解促進や人材不足への支援に有意義だったとの回答割合						
	数値目標	80%	実績数値	72.7%	目標達成度	90.9%		
	成果の代表事例	上記の感想以外にも「求人に対して参考になる意見をもらったので、今後社内で展開していきます」「現状の高校生の考え方が参考になった」「今後の採用活動に際し非常に参考になりました」などの感想を頂戴した。 その他「若手社員が自らの仕事を学生さんに説明することによって成長の機会を得た」「お越し頂いた生徒だけでなく、対応した先輩社員(同校卒業生)にとっても自身を振り返る時間になった」との感想もいただき、参加企業の人材育成にも有益な事業になったと考える。						
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症の影響(社内クラスター)により、参加申込企業の1社から直前にキャンセルが出て、学校側・企業側に少々混乱を与えてしまった。そういう意味でも、開催時期については、できるだけ感染症の影響が出にくい時期に実施できるよう調整を行いたい。						

大東商工会議所

事業名		ビジネス講演交流会								
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域商工事業者は、デフレや円高からの脱却により景気回復の期待の高まりがあるものの、依然厳しい経営環境にさらされながら業績改善のため付加価値の向上や販路開拓に取り組まれているのが現状である。 そこで、経営戦略や強い組織づくりなどをテーマとした講演会を開催することにより、経営力の向上・組織強化による地域経済の活性化に資することを目的にビジネス講演会を開催。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小・小規模事業者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ウイズコロナの中、地域経済への活力を高め、存在感を高める大東市を目指すために個社の強みを活かしつつ、地域全体で取り組む事業展開が必要であり、地域経済の活性化に資する講演会を開催。 【日時】 令和 4年10月 6日(木) 【場所】 大東市立市民会館 キラリエホール 【テーマ】 「ニュースの裏側から今後の政治経済を読む」 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
	③市町村連携									
	④相談相乗	「事業計画書作成支援」「労務支援」「金融支援」「販路支援」等						カルテ化企業数	12社	(カルテ化目標 30社)
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	70.0	総支援企業数(実績)	62.0	支援実績率	88.6%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の講演会を開催したことにより、「今後の経営改善のために役立った」「柔軟な発想を活かした新たなビジネスモデルの構築・事業展開の必要性が理解できた」「新しい販売や製造の形を模索していく」等意見が寄せられ、今後の経営戦略に向けた計画策定や事業展開の幅が広がったと感じている。								
		代表指標	アンケートにおいて今後の経営改善のために役立ったと回答した割合							
		数値目標	70%	実績数値	81.0%	目標達成度	115.7%			
	成果の代表事例	●伝統を守りつつ、自分の中にも根っこの考えとなる軸を持ち進めていきます ●目先の利益でなく先々の可能性に投資できるように努力していく ●色んなネットワークを活用し、何か一つでも得意な分野を持ち可能性を広げていく 等、多数の感想が寄せられた。 T社は、大東市の良さや強みを再認識し柔軟な発想を持ち、大東市版の物語を踏まえた事業展開を図っていくとの事。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足率や今後の事業展開への知識習得については、一定の成果が上げられたと感じている。しかし、事業者にとって多忙な時期に開催したことにより、小規模事業者の参加が低調であった。(金融機関の参加者が多かった) また、アンケートの回収に関しては回収できていない事業所もあり、今後の事業開催時には積極的な回収が必要と考えている。 引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、課題解決に向けた支援が必要と考えている。 (講演会参加企業数 64社(内、金融機関6行) 143名)								

大東商工会議所

事業名		クラウドファンディング活用セミナー							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	クラウドファンディングは資金調達だけでなく、テストマーケティングやプロモーションの効果もあり、成長している一つの市場である。BtoBのものづくり企業も自社のリソースや技術を活用し、ブランド発信手法にクラウドファンディングを導入している。 クラウドファンディングの制度内容や過去の地域事業所でのプロジェクト成功例を中心に解説して「新たな資金調達・マーケティング・販路開拓方法」を知っていただき、現事業を活性化することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市内を中心に業種を問わず、すべての事業所を対象とする							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】令和4年10月5日(水) クラウドファンディングの仕組み、始め方、プラットフォームの特徴、成功させるためのポイントや要素、プラットフォームへの入稿データの作成ディスカッション、北大阪商工会議所の経営指導員からの実際に地域資源を活用し地域活性化につなげたプロジェクト事例紹介などクラウドファンディングを実現する上での必要な最新の情報を学んでいただくための実践的なセミナーを実施 (テーマ) ①クラウドファンディングとは? ②クラウドファンディングの成功事例 ③成功するプロジェクトのポイント ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	中小企業支援室担当部署とカリキュラム内容について協議を行った。						
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗	「販路開拓支援」「帳簿支援」 カルテ化企業数 2社(カルテ化目標 8社)								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	53.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナーを開催したことにより、「クラウドファンディングによる効果的な経営手法を学び導入を検討していく」「クラウドファンディングの実体験の話が参考になった」「コト要素やモノ要素のバランスが重要であることが理解できた」等意見が寄せられ、クラウドファンディングに係る知識習得につながったと感じている。また、プラットフォームへの入稿データを参加者間で話し合うことにより、身近に感じ今後の展開を期待している。							
		代表指標	クラウドファンディングによる効果的な経営手法を学び、導入を検討している企業数						
		数値目標	70%	実績数値	50.0%	目標達成度	71.4%		
	成果の代表事例	●クラウドファンディングがマーケティングのIT活用としてとらえることができた ●今まで遠く感じていた距離が近くなった気がする。学んだことを会社に持ち帰り、この仕組みを活用できるよう取り組みたい ●他社との差別化を図るため商品力や伝達力を検討していく 等、多数の感想が寄せられた。 T社は、事業者・事業体の骨子の内容や密度を考え、共感される要素の磨き上げをして経営改善を図っていくこととなった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	クラウドファンディングが資金調達的手段だけに捉えられ、新製品等の認知度向上やブランディングの手段にも活用できるといった周知が乏しかった点や今回の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が少なかったことは反省点である。しかし、参加者の満足率や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、クラウドファンディングに係る市場調査・ニーズ調査・価格設定など顧客獲得に向けた支援が必要と考えている。							

大東商工会議所

事業名		女性起業家セミナー																																		
想定する実施期間		4 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大東市では起業・創業支援に注力しており、ワンストップ相談窓口の大東ビジネス創造センター(D-Biz)の設置、大東市創業支援等事業計画、夢をかなえる起業応援補助金等の制度活用を推奨。その効果もあり、大東市の女性起業家数は過去5年間実績(平成28年:8人、平成29年:8人、平成30年:18人、令和元年:12人、令和2年:19人)と増加傾向になっており、更なる女性起業家を増やし地域活性化を図る。																																		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東市や近隣に在住する女性で起業して3年未満の方や企業を検討している方を対象とする																																		
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和4年11月22日(火)</p> <p>創業前の方や創業後間もない方を対象に、創業前・創業後それぞれに必要な知識の習得、創業計画書の作成方法、資金調達の方法、さらに創業後に成功するためのアドバイスなど実践的なセミナーを実施。また、先輩起業家からの実例や創業に関する支援制度、受講者間でのディスカッションを実施。</p> <p>〈テーマ〉</p> <p>①創業のグランドデザイン ②創業計画書作成のポイント ③D-Biz・商工会議所からの支援策紹介 ④先輩起業家による実例紹介</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="6">大阪府担当部署担当者とのカリキュラム内容について協議を行った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="6">大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="6">カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社) カルテ化には至らなかった。</td> </tr> </table>							①府施策連携	大阪府担当部署担当者とのカリキュラム内容について協議を行った。						②広域連携							③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。						④相談相乗	カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社) カルテ化には至らなかった。					
	①府施策連携	大阪府担当部署担当者とのカリキュラム内容について協議を行った。																																		
	②広域連携																																			
③市町村連携	大東市からも企業募集案内の周知を図っていただいた。																																			
④相談相乗	カルテ化企業数 0社(カルテ化目標 5社) カルテ化には至らなかった。																																			
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	80.0%	満足率	100.0%																												
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回のセミナーを開催したことにより、「起業意欲が高まって、起業準備のイメージができた」「実行計画(アクションプラン)を立案していく」「先輩起業家や同じ悩みを抱えている方とディスカッションでき参考になった」等意見が寄せられ、ビジネスプランの立て方や創業に向けた進め方・準備の必要性について意識向上や創業への第一歩につながったと感じている。</p> <p>代表指標 起業意欲が高まって、起業準備のイメージができた参加者の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>41.6%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="2">59.4%</td> </tr> </table>							数値目標	70%	実績数値	41.6%	目標達成度	59.4%																						
	数値目標	70%	実績数値	41.6%	目標達成度	59.4%																														
	成果の代表事例	<p>●頭の中でモヤモヤしていたことが少し明確になった</p> <p>●お客様のニーズや自社の強みを深掘していく</p> <p>●創業に向けたタイムマネジメントをしっかりとっていく 等、多数の感想が寄せられた。</p> <p>P社では、今回のセミナーで学んだことを踏まえ、3C(顧客・競合他社・自社)分析を行いECサイトでの販売を行うこととなった。</p>																																		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																														
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加者の満足率や知識の習得については、一定の成果が上げられたと感じている。引き続き、事業者の取組みの状況を確認し、経営全般の情報発信を行なっていくとともに、創業に向けたビジネスモデルの検討や検証、企業情報の魅せ方、資金計画や収支計画の立て方など夢を叶え実現に向けた支援が必要と考えている。																																		

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

大東商工会議所

事業名		製造業のための安全道場								
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域の主幹産業である製造業において、労働者の安全を確保する取組みを実施している事業所は少ない現状にある。経営のリスク要因を減らす意味でも、今後安全対策を実施したいと考える。工業関連事業所に対し、工場の安全対策に関する情報と十分に学習できる環境を提供し、将来の労災事故を減らす啓発活動を実施する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大東商工会議所および北大阪商工会議所管内かつ自社工場内での安全対策に積極的に取組む姿勢を有する工業関連の事業所を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【実施日時】 令和4年8月26日、9月1日（大東商工会議所） 令和4年10月14日、10月28日（北大阪商工会議所） 時間はともに13時10分～16時40分								
		【場所／講師】 (株)エクセディ 寝屋川本社 / (株)エクセディ 安全衛生環境部 安全衛生チーム主査ほか								
		【具体的な内容】 ○ 災害事例紹介及び質疑応答 ○ 安全道場研修（※2グループに分かれての体感研修） ① 重量物運搬訓練、② 挟まれ体感機、③ 安全装置の役割、④ 安全装置の役割 ⑤ 高所作業教育、⑥ 安全帯使用吊り下げ体感、⑦ 感電、過電流、トラッキング体感								
<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>										
	①府施策連携									
	②広域連携	北大阪商工会議所との広域連携事業。大東が主幹として企画調整を担当。共催として参加の北大阪商工会議所と協力し、本事業を実施した。								
	③市町村連携									
	④相談相乗	本事業を通じて、参加者の安全対策に関する意識が高まり、労務支援のカルテ化など相談支援事業との相乗効果が認められた。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	28.0	支援実績率	116.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケートを実施したところ、満足率は100%となり、以下の感想（抜粋）を頂戴した。  ○安全に対する意識が低かったのですが、今回の安全教育を受け危険について学び、気を付ける必要があると思いました。自社でもとれる対策があったので、今後改善したい。 ○普段は効率を求めるあまり安全対策をおろそかにしていることに気付かされました。 ○安全についての意識が更に向上しました。自部署で展開できることや習ったことを活かし、まずはコンセント点検、保護具の点検から行います。 ○今まで自分の会社で学んできたことを他社に充分説明することができた。 ○他社の事例が参考になった。 ○研修を受講した結果、弊社の安全対策に対し危機感を覚えました。  参加者の上記感想からも、本事業が参加者の安全対策に有益な情報を提供できただけでなく、参加企業の将来の労災事故を減らす啓発活動になったと考える。								
		代表指標	安全対策の意識向上及び自社の労災事故減少に有益との回答割合							
		数値目標	90%	実績数値	95.0%	目標達成度	105.6%			
	成果の代表事例	「労災事故減少に有益な情報収集ができた」もしくは「体感型研修で安全意識が向上した」と参加者37名中、35名の方より回答を頂戴した。 その他、「今回の研修で高所作業の危険、ハーネス型安全帯の重要性を学ぶことができました」「安全装置の役割についてよく理解できました。会社の安全装置を見直し、事故のない会社を目指したいと思います」など、本事業が安全対策に有意義であったとの感想を多数頂いた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)					
					目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加された事業所にとって非常に有意義だと感じていただいている本事業を、次年度以降も北大阪商工会議所と連携し効果的に実施したい。								